

## 福祉サービス第三者評価結果

### ①第三者評価機関名

平成 28 年度

特定非営利活動法人  
介護と福祉の調査機関おきなわ

調査期間：平成28年 7月 8日  
平成28年10月 7日

### ②事業者情報

名 称：仁愛療護園	種 別：障害者支援施設
代表者氏名：新垣 武四郎	定員 (利用人数)：76 名
所 在 地：〒901-0619 沖縄県南城市玉城字屋嘉部200番地	TEL：098-948-1815

### ③総評

#### ◇特に評価の高い点

1. 利用者の主体的な活動が尊重されている。  
理事長として、「障害の重さに関係なく、その世代の人がするであろう経験をさせた」との思いがあり、利用者の余暇・レクリエーション対応についても、利用者会議や個別のヒヤリングを通して利用者の意向を把握し、毎年海水浴を実施し、乗馬やスキューバダイビングの体験を実現させ、希望者は映画鑑賞や買い物等に介護タクシーを利用して自由に外出している。外泊についても自宅だけではなく、今年も北部のホテルへの一泊旅行が企画されており、利用者の意思を尊重した活動を展開している。
2. サービス向上委員会を設置し、全職員参画の下で取り組んでいる。  
第三者評価受審後、課題改善のためのサービス向上委員会として、リスクマネジメント委員会、サービスマネジメント（マニュアル）委員会、研修委員会を設置し、さらに、全職員が改善に向けて関わる仕組みとして委員会を細分化し、入浴、食事、排泄、移乗、整容と具体的なグループを編成して取り組んでいる。例えば研修委員会では、今年度から職種別研修として看護職と機能訓練職に対してそれぞれの協会が実施する専門研修の受講を開始し、マニュアル委員会では各種マニュアルの全面的な見直しに組織を挙げて取り組んでいる。
3. 食事は利用者の嗜好を考慮した献立などについて検討体制が整備され、具体的な取り組みを行っている。  
利用者の嗜好や要望については、残食調査で把握するとともに、毎月実施される利用者の半数以上が参加している給食会議で食事についての意見等を聞く場としている。さらに、掲示板には食べたいメニューを記入するメモ用紙が準備され、「エビフライ」等が利用者の氏名と共に書き込まれている。掲示板に書き込まれた要望については、利用者一人ひとりに対応しメニューに追加提供するなど、具体的な取り組みがされている。食事全般については、献立や利用者の対応方法や誤嚥防止などが各職種からなる食事会議で検討され反映されている。

## ◇改善を求められる点

### 1. 理念に基づいて基本方針の策定が望まれる。

理念は、施設の目的や使命、目指す方向性等が読み取れる内容となっている。その理念の実現のための基本方針は、理念に基づいて施設の利用者に対する姿勢や地域との関わり方、あるいは組織が持つ機能を具体的に示す重要なものである。職員等が理念を具体的に実施していくための行動指針となるような、基本方針の作成が望まれる。

### 2. 中・長期（3～5年）的なビジョンを明確にした計画の策定が望まれる。

中・長期の計画は、理念や基本方針の実現に向けた具体的な取り組みを示すものである。実施する福祉サービスの更なる充実、課題の解決等のほか、地域ニーズにもとづいた新たな福祉サービスの実施なども含めた目標を明確にし、その目標を実現するために、組織体制や設備の整備、人材育成等に関する具体的な中・長期計画の策定が望まれる。

### 3. 薬物及び服薬、誤薬に関する管理体制の整備が望まれる。

薬の仕分けから服薬確認までの方法については、口頭での取り決めとなっている。薬物保管から服薬確認までの方法や薬物の取り違えや服用忘れ、薬物使用の誤りがあった場合の対応マニュアルの作成、並びに、服薬状況の記録作成、誤薬発生時の事故報告の実施など管理体制の整備が望まれる。

## ④第三者評価結果に対する事業者のコメント

当園では前回の受審結果を真摯に受け止め、利用者サービスの質の向上や改善に努めてまいりました。

今回の第三者評価調査結果報告書の内容については、すでに課題として捉えていたが具体的に取り組めなかったこと、そうではなく新たに気付かされた課題とを明確に把握することが出来ました。また、利用者本位の視点、第三者からの視点をあらためて気づかせていただくこととなりました。

福祉を取り巻く制度や環境はめまぐるしく変化していますが、利用者本位のサービスを提供していくことはいつの時代も変わらない最も重要な事です。日々のサービス提供に関わる様々な実践や改善に取り組み、それをさらに充実させていくように今後も努めてまいります。

## ⑤各評価項目にかかる第三者評価結果

## 基本調査票

本調査票は、貴事業所の基本的な概要について記載していただくものです。

本調査票の記入日： 平成 28 年 4 月 1 日

設置・運営主体	社会福祉法人 仁愛会		
設置主体	社会福祉法人 仁愛会		
経営主体	社会福祉法人 仁愛会		
事業所名 (施設名)	仁愛療護園	種別	障害者支援施設
所在地	沖縄県南城市玉城字屋嘉部200番地		
電 話	098-948-1815	F A X	098-948-2016
Email	zinaikai@zinai.jp	U R L	zinai.jp
施設長氏名	新垣 武四郎		
調査対応担当者	伊禮 孝 (所属、職名：サービス管理責任者)		
利用定員	定員 76(ショートステイ4床)	名	開設年 昭和 55 年 4 月 1 日
開所時間 (通所施設のみ)			

## 【職員の状況に関する事項】

## ① 職員体制

	総数	施設長	事務員	サービス管理責任者	指導員
常勤	59 名	1 名	1 名	2 名	名
非常勤	16 名	名	3 名	名	名
	主任介護職員	介護職員	看護師	理学療法士	言語聴覚士
常勤	2 名	37 名	9 名	2 名	名
非常勤	名	6 名	名	名	名
	保育士	管理栄養士	医師	その他の職員	
常勤	名	1 名	名	4 名	名
非常勤	名	名	2 名	5 名	名

理学療法士	2 名 ( 名)
作業療法士	名 ( 名)
言語聴覚士	名 ( 名)
柔道整復士	名 ( 名)
あん摩マッサージ指圧師	名 ( 名)
介護支援専門員	2 名 ( 名)
社会福祉士	4 名 ( 名)
介護福祉士	34 名 ( 名)
その他 ( )	名 ( 名)

看護職＋介護職＋理学療法士＋生活指導員について

常勤職員数 50 名

非常勤職員数 6 名 (常勤換算 53 名)

※計算式：それぞれの週あたりの勤務延時間数の総数  
÷当該事業所の常勤職員が勤務すべき時間数

(非常勤職員の有資格者数は ( ) に記入)

② 前年度職員の研修実施・派遣状況 参加人数：延べ 120 名

研修名称・主催者等 療育音楽指導者養成研修（東京ミュージックボランティア協会）  
 介護福祉士基礎研修、ファストステップ研修、リフリーダー研修（沖縄県介護福祉士会）  
 栄養士研修会（沖縄県栄養士会）  
 九州サービス提供者職員研修（九州障害者支援施設協議会）

③ 常勤職員の平均年齢 43 歳④ 常勤職員の男女比 男性 24 % 女性 76 %

⑤ 期待する職員像（職員に求めている人材像や役割）

1. 利用者および家族に対して最善の日常サービスの提供が出来るよう考えながら日常業務を行える職員。
2. 福祉の専門職として、地域の皆様にアドバイスする人材となること。

## 【サービスの内容に関する事項】

① 理念・基本方針

仁愛療護園 基本理念  
 私たちは、“幸せな未来”を創造します。  
 私たちは、“夢に向かって”チャレンジする精神を育みます。  
 私たちは、“今を大切に”明るく楽しい生活を実現します。

② 本来事業に併設して行っている事業

1. 特定相談支援事業

## 【定員及び現在の利用者の状況】

① 定員 76 名  
 ショートステイ定員 4 名（空床型）

② 前年度の稼働率（延べ利用者数 ÷（定員 × 365日） × 100）

入所 75.1 % ショートステイ 0.7 %

③ 前年度の退所者数(短期入院での再入所は除く)

内訳：在宅復帰            名  
 他の施設への入所            名（施設種別内訳）  
 病院への入院   1   名  
 死亡   4   名  
 その他            名

④ 平均在所期間   18   年  10  ヶ月

⑤ 現在の利用者

- ・現在の利用者数   79   名
- ・ショートステイの現在の利用者数   4   名
- ・男女比   男性  58  %   女性  42  %
- ・年齢別内訳

年齢	0-5	6-10	11-15	16-20	21-30	31-40	41-50	51-60	61～
人数						2名	9名	32名	36名

- ・日常生活動作等の状況

	食事介助	排泄介助	入浴介助	着脱衣介助
一部介助	33	18	7	6
全部介助	46	61	72	73

- ・障害の程度

身体障害程度の内訳

1級	2級	3級	4級	5級	6級	7級	認定なし	計
59名	12名	1名	1名					73名

知的障害程度の内訳

A1	A2	B1	B2	認定なし	計
3名	9名	3名			15名

精神障害手帳の有無

1級	2級	3級	認定なし	計
3名	1名			4名

重複障害の状況

精神＋身体	精神＋知的	身体＋知的	精神＋身体＋知的	計
4名		10名		14名

- ・ 車椅子を常時利用している人 97.4 %  
 (計算式：車椅子を常時利用している人数÷現員数×100)
- ・ おむつ使用者 常時 67 % 夜間のみ 29.1 %  
 (計算式：常時使用者÷現員数×100、夜間のみ使用者÷現員数×100)
- ・ 人工呼吸器使用者 0 %  
 (計算式：人工呼吸器使用者÷現員数×100)
- ・ 身体の行動制限を行っている 5.06 % (制限理由は問わず何らかの行動制限の対象となっているもの)  
 (計算式：行動制限を行っている人数÷現員数×100)
- ・ 就学状況  
 ア) 施設内学級  有  なし  
 「有」の場合 ⇒ 在籍者数 小学校 名 中学校 名 高校 名  
 イ) 通学者数 小学校 名 中学校 名 高校 名

【施設の状況】

① 建物の状況

(1) 建物面積	2643.0 m <sup>2</sup>		
	入所(通所)者1人あたり 33.0 m <sup>2</sup> (延べ床面積÷定員)		
(2) 耐火・耐震構造	耐火	<input checked="" type="checkbox"/> 1 はい	<input type="checkbox"/> 2 いいえ
	耐震	<input checked="" type="checkbox"/> 1 はい	<input type="checkbox"/> 2 いいえ
(3) 建築(含大改築)年	昭和	54年	

② 居室の状況

・ 居室数

1人部屋	2人部屋	4人部屋	9人部屋	その他
室数	室数 4	室数 21	室数	室数
設備等	設備等	設備等	設備等	設備等

・ 定員1人あたりの居室面積

762.5 m<sup>2</sup> (入所者1人あたり 8.125 m<sup>2</sup> : 居室面積合計÷定員)

・ 1人部屋以外の場合の間仕切りの有無  有  なし

「有」の場合 ⇒  カーテン  家具  その他 )

【苦情対応】

- 窓口設置  あり  なし
- 第三者委員の設置  あり  なし

## 【サービスの提供内容に関する特色等】

## ①健康管理

協力病院有り、施設内回診：内科嘱託医1回／週、整形嘱託医1回／月  
 定期健康診断 2回／年実施。  
 経管利用者(寝たきり)への看護師による口腔ケアの実施。  
 受診時の対応は施設職員による送迎・付添い有り。  
 看護師が24時間配置されている。  
 インフルエンザ予防接種の実施(費用は施設負担)。  
 必要に応じて看護師による勉強会(感染症対策の開催)

## ②食事

	時間帯	場所	備考
朝食	8：00～9：00	食堂ホール	感染症対策時は、各棟ホールや居室で食事提供する場合がある。
昼食	12：00～13：00	食堂ホール	
夕食	17：30～18：30	食堂ホール	

## ③地域との交流

小・中・高校生 J R C 活動や地域ボランティア、保育園の子供たちとの交流あり。

## ④施設の公開・見学 平成27年度

専門学校生や地域ボランティア、県外からのお客様、入所希望者へ公開・見学を行っている。

## ⑤ボランティアの受入

・平成 27 年度におけるボランティアの受け入れ数（延べ人数） 86 名

ソロプチミスト(5名)、子羊保育園(40名)、J R C (35名)、専門学校生(6名)

## ⑥実習生の受け入れ

・平成 27 年度における実習生の受け入れ数（実数） 19 名

アカデミー専門学校(4名)、沖縄リハビリ専門学校(2名)、ソーシャルワーク専門学校(2名)、琉球大学(9名)、沖縄国際大学(2名)

## ⑦行事等実施状況（散歩、買い物、季節のイベント等）

※年間行事予定表を添付

1人あたりの平均的な外出回数 4～5回／年回／月（平成27年度）

**【授産事業の状況】**

① 授産事業（印刷封入、喫茶等）

なし

② 年間授産収益及び工賃支給状況（前年度実績）

	金額	対前年比
授産収入総額		
工賃支給総額		
1人あたり工賃平均支給額		
最高支給額		
最低支給額		

**【料金】利用者負担金以外の利用料**

内容	利用者預り金	(	1000	円/月1回)
内容	利用者預り金（現金）	(	2000	円/月1回)
内容		(		円/月・回)

【評価を受審するに当たり、評価機関に知っていて欲しいこと】

経営層が考えていること、利用者の状況、職員の状況、評価の着眼点にない独自の取り組み・工夫などを自由にご記入下さい。

1、理念・基本方針の確認

2、期待する職員像

3、経営環境の変化への対応

4、サービス提供の考え方

5、力を入れて取り組んでいること

6、サービスの維持・向上への取り組み

7、サービス利用者からの意見の聴取